

運動会作文

「優勝」

K. U

私は運動会であまり勝ったことがなく、「今度は勝てる！」と信じて負けたことがたくさんあったので、過度な期待をしないで運動会は全力で頑張ることが目標でした。運動会の練習の際、大縄跳びでは目標としている回数を飛ばず悔しい思いをしたり、全員リレーのバトンパスを必死にやっている仲間の姿がありました。最初は、そのペースに合わせられずただ一人でつっ立っていました。私が「クラスで優勝は無理だろう。」と想着いても、クラスメイトはただ優勝を目標に全力で頑張っていて、その時「皆が優勝を目指しているのだから私ももっと頑張らなくちゃ。」と思いました。たとえ他人から不可能と思われていようとも、全力で頑張る皆の姿がある場所で、私だけ勝手にあきらめて私のせいで負けたらそれは「自分が負けさせた」ことになってしまいます。あと、優勝して喜ぶみんなの顔が見たいとも思ったので、自分にできることはやろうと感じました。

そして運動会本番。練習よりも熱気があり白熱している場で、大縄・ムカデ・全員リレーを頑張りました。特に印象に残っていたのは、全員リレーで私にバトンをくれた子が汗をたくさん流しながら走っていて、その子の頑張りを絶対に無駄にはさせないと思ったので全力で走りました。結果発表の時、A組が準優勝と言われた時、皆は笑顔で「イェーイ」と言っていました。その時、優勝じゃなくてもその間の努力が大事なんだと思い、そして優勝を目指し頑張ってきたからこそ、みんなは笑顔だったと感じました。来年度は私ももっと努力して今度こそ「優勝」できるようにしようと思いました。

「全員リレーと大縄」

O. K

全員リレーの結果は4位だった。

今の気持ちはただ悔しい。悔しいと言っても4位のことじゃない、4位のことでも悔しいは悔しいけど一番悔しいのは、他のチームの反則を喜んでしまったことだ。全員リレーの目標は、全員が反則なく、全員で頑張るという目標だった。だから、他のチームの反則で喜んでしまった自分がものすごく小さく感じる。

来年も全員リレーはある。しかし、このままだと絶対反則をしたり、その他のチームの反則で喜んだりすると思う。そんなので1位をとったって自分はあまり良い気がしない。どうせとるなら「今回は、反則はありませんでした。」と気持ちよく1位をとりたいと思う。自分は来年ある全員リレーでは反則は全くなく、みんなで気持ちよく「優勝おめでとう」と優勝したことをみんなでお祝いしたい。

二つ目の思い出は大縄だ。大縄の練習では、全然記録がでなくて一回だけ35回いったけど、その後から息が合わなくなってしまって正直「これ本当に本番数字でいいのか」と思った。しかし、その後もめげずにみんなで頑張った。それでも数字ははず、すぐに運動会当日になった。自分は少しドキドキしながら友達に「大丈夫かな。」と言ったら、「大丈夫だよ。」と言ってもらい、少しドキドキがおさまり、スタートの合図がなった。それに合わせて友達の息のあった「せーの」の合図で縄がまわり、それに合わせてみんなが跳んだ。10回跳んだところで息が合ってると思った。25回でとまってしまって男子の大縄は、それで終わってしまった。あとは女子に託した。自分は声が少し枯れるくらい応援をした。女子は40回という記録を叩き出した。結果は、3位だったけれど、みんなで楽しめたから良いと思う。

【来週の予定】

| 日付 | 予定 | 備考 |
|-------|-----------------------------|------------------------|
| 1日(月) | ①⑥チェンジ ⑥カット 一斉委員会 | A組女子SC全員面談 |
| 2日(火) | Cleaning Days① | |
| 3日(水) | ⑤総合的な学習の時間・キャリアについて 保護者会 | 教育相談連絡票締切 定期考査の記録締切 |
| 4日(木) | Cleaning Days② | |
| 5日(金) | ⑥1学期の振り返り Cleaning Days③ | |